

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
楽器レッスン2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	鳥居隼/Ryuta/渡部サヤ			実務経験	有	職種	音楽家				
担当教員紹介											
渡部サヤ 宮崎県出身。6歳からHIPHOPダンスを始め、高校卒業後上京。日本工学院専門学校ダンスパフォーマンス科卒業。様々なバトル、コンテストにて受賞。ライブ、舞台などのイベントへの出演や、振付師など多岐に渡り活動中。ダンススタジオや学校のダンス授業で講師としても務めている											
授業概要											
コードしっかりと理解すると同時に、コードを追ってプレイできるようになる。弾き語りやバンドギター、エレキ、アコギ等、それぞれが目標とするものを明確にし、それに沿った技術を習得する。また一人でギターをDTMでの打ち込みが出来るようになることを目標にする。ダンスはしっかりと基礎のステップから学び、最低限の振り付けを自分で考えられるようになる。											
到達目標											
基本的なコードを覚え、押えられるようにする。オリジナル、カヴァー問わず、自分で選曲した曲を弾けるようになる。シンガーソングライター希望の学生は自身でコード付けした曲を自分で演奏できるようになる。また、曲の構成を理解し、Aメロ、Bメロ、サビ等それぞれのセクションに沿った伴奏(演奏)を出来るようになる。間奏ソロのメロも出来るだけ自身で考えてプレイできるようにする。											
授業方法											
レベル、演奏スタイルによってグループに分かれ、自身が選択した曲の譜面、またはあらかじめ配布された楽譜を予習してくる。コードを読み取って、ある程度弾ける状態でレッスンに臨む。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
個人差が大きい為、レベル別でのグループレッスンを行う。また、弾き語りやバンドギター等、目標に応じた内容のレッスンを個別に行っていく。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	個々の今後の課題を再度振り返る										
第2回	アルペジオの練習										
第3回	アルペジオ奏法を理解し、実践に繋げる										
第4回	曲中(既存曲)の中でアルペジオを活かしてみる										
第5回	曲を決める 実際の練習										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
楽器レッスン2	
第6回	自由曲による練習(オリジナル含む)
第7回	コードの理解
第8回	メジャーセブンスまでのコードの理解、その実践
第9回	パワーコードについて
第10回	正しい奏法を身につける(各自の選んだ曲に合わせる)
第11回	スケールを正しい運指を使って 運指 奏法 リズム
第12回	スケール 運指 奏法 リズム
第13回	ストロークの練習
第14回	実際に曲に合ったサウンドを作ってみる
第15回	国内特殊事情としてのバブル時代からバブル後の音楽シーンへの流れの分析と把握。そして現在へと繋がる流れを確認する。